

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏 名	MM	学部・学科	国際教養学部・国際教養学科
学 年	3	派遣国	スペイン
派遣大学	サンティアゴ・デ・コンポステラ大学		
期 間	2025 年 9 月 7 日～2026 年 6 月 9 日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / アパート / その他 ()					
部屋	個室 / 2 人部屋 / 3 人部屋 / その他 ()					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	○	シャワー	○	洗面所	○
	キッチン	◎	冷暖房	○	冷蔵庫	○
滞在費	約 (14 万) 円 *1 ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(徒歩) で、約 (15) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先 2 の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1 ヶ月の生活費

項 目	金 額	内 訳
食費	10000 円	
学用品購入費	500 円	
交通費	40000 円	旅行の飛行機
交際費	0 円	
その他	15000 円	宿泊費

合計

65500 円

*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

夜道は明るく、学生街ということもあり、飲み歩いている人が多い。

警察のパトロールもかなり見る。

特に危険地域や治安が悪いということはない。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他（ ）		
加入期間	（ 10 ）ヶ月間	保険料	（ 103930 ）円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称	Sanitas		
加入期間	（ 12 ）ヶ月間	保険料	（ 74799 ）円

4. 滞在都市についての情報

<p>滞在都市／町（ サンティアゴ・デ・コンポステラ ）</p> <p>大学と旧市街が町の主な建造物で、小さな町であるため徒歩でほぼ移動が可能。夏季はほぼ降水量がなく、晴れの日がほとんどであるが、冬季はほぼ毎日雨である。</p> <p>現地の人には大学生もしくはお年寄りの方が多い印象がある。ここに加えて、観光客がかなり旧市街を中心にたくさんいる。</p> <p>物価はそこまで高くなく、食料品などの値段は日本とあまり変わらないが、外食費は一食当たり 3000 円以上する。</p>
--

【学業編】

1. 大学情報

大学	サンティアゴ・デ・コンポステラ大学	所在地	Praza da universidade,1, 15704 Santiago de Compostela
最寄空港	サンティアゴ・デ・コンポステラ空港	空港からの距離	13km
空港⇄大学	(バスで 40 分) *移動手段		
学生数	24000 人	留学生数	1800 人
学部	経営学部 教育学部 理学部 視能矯正・眼科学部 経済・経営学部 教員養成学部 高等工学部 法学部 人文学部 高等ポリテクニク工学部 政治・社会科学部 労働関係学部 医学・歯学部 地理・歴史学部 生物学部 薬学部 哲学部 化学部 看護学部 文学・言語学部 数学部 獣医学部 コミュニケーション学部 物理学部 心理学部 *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	地理・歴史学部 *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

2. 週間スケジュール

① (9)月～(1)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前					フィールドワーク
午後	Cartografía Básica	Geografía Física 1	Introducción a la Geografía Regional Geografía Física 1	Introducción a la Geografía Regional Cartografía Básica	フィールドワーク

② (2)月～(6)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前					フィールドワーク
午後	Geografía Física2	Geografía Física2 Historia del Urbanismo Historia del tiempo presente	Historia del tiempo presente Historia del Urbanismo		フィールドワーク

3. 履修内容

科目	Cartografía Básica		
履修期間	2025/9-2026/1	単位数	6ECTS
授業内容／形態	地図作成の歴史や基本的な地図の作成を学ぶ授業。緯度経度や UTM 座標を使用して地図の場所を特定したりしている。 主に、教授がスライドを使って説明し、その後にパソコンを使用して実践を行う。		
成績	8.0		
YCU 振替予定	科目	特講（学部留学科目）	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	Geografía Física1		
履修期間	2025/9-2026/1	単位数	6ECTS
授業内容／形態	自然地理学の概念と内容を学ぶ。地球の構造や岩石の起源と分類、テクトニクス、地層についての知識を身に付ける授業である。 一斉授業、フィールドワークや実践授業もあり。		
成績	5.0		
YCU 振替予定	科目	特講（学部留学科目）	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	Introducción a la Geografía Regional		
履修期間	2025/9-2026/1	単位数	6ECTS
授業内容／形態	地理学における地域概念や地理学の歴史、空間計画、領土の組織についての知識を身に付ける授業である。 一斉授業、グループワーク、パソコンで QGIS にも触れる。		
成績	5.0		
YCU 振替予定	科目	特講（学部留学科目）	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	Historia del Urbanismo		
履修期間	2026/2-2026/6	単位数	6ECTS
授業内容／形態	都市計画の授業でヨーロッパの古代の都市構造やスペインの地方都市について各建物にどのような役割があるかを学ぶ授業。 主に、教授がスライドを使って説明し、その後にフィールドワークやグループ発表あり。		
成績	5.0		
YCU 振替予定	科目	都市デザイン論	
	単位数	2	
	担当教員	鈴木伸治	

科目	Geografía Física2		
履修期間	2026/2-2026/6	単位数	6ECTS
授業内容／形態	自然地理学の概念と内容を学ぶ。気候を中心に気温や日照時間、降水量などを学ぶ授業。 一斉授業、フィールドワーク、グループワークあり。		
成績	5.5		
YCU 振替予定	科目	特講（学部留学科目）	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	Historia del tiempo presente		
履修期間	2026/2-2026/6	単位数	6ECTS
授業内容／形態	第二次世界大戦やその後の冷戦について学ぶ授業。 一斉授業、グループワーク、個人発表、小テストあり。		
成績	5.0		
YCU 振替予定	科目	ヨーロッパ史	
	単位数	2	
	担当教員	山根徹也	

<総括>

(1) 全体的な感想

*留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

今回の留学では、自分のスペイン語能力が実際にどの程度通用するのかを試したいという思いと、これまで訪れたことのないヨーロッパで生活を経験してみたいという思いから留学を決意した。また、全く知らない国で一人生活を送り、自分の力だけで生活していけるのかという不安もあった。

留学生活の中で特に印象に残っている出来事は、授業の一環として行われたフィールドワークでの登山である。約 3 時間かけて山を登り、そのまま下山するというハイペースな日程で、体力的には非常に大変だった。しかし、その道中で友人とさまざまな話をしながら過ごしたことで、お互いの距離を縮めることができた。また、現地では 39 度台の熱が約 1 週間続くという体調不良も経験した。家族が近くにいない環境で生活することの大変さを実感するとともに、一人で状況を判断しながら行動する必要がある、自分自身の成長につながる経験となった。

大学の授業では、日本との違いを多く感じた。教室が比較的小さく、先生と学生の距離が近いので、会話を交えながら授業が進められていたことが印象的であった。また、講義形式だけでなく、グループワークやフィールドワークなど実践的な授業も多く、学生同士で意見を交わしながら学ぶ機会が多かった。さらに、成績評価もレポートや出席、試験を組み合わせた方法で行われており、日本とは異なる教育方法を知ることができた。

語学面では、留学当初は自分の考えをスペイン語で伝えることが難しく、友人同士の会話も十分に理解することができなかった。しかし、授業や日常生活の中でスペイン語に触れ続けたことで、次第に相手の話を理解できるようになり、帰国する頃にはスペイン語で考えられる場面も増えた。実際に現地で生活しながら学ぶことで、語学力は教室だけでは身に付かないことを実感した。

また、生活面では日本との文化の違いにも多く触れた。特に印象的だったのは生活リズムであり、昼食が 15 時頃、夕食が 21 時頃という習慣や、昼食時間帯には飲食店以外の多くの店が営業していないことに最初は驚いた。しかし、その土地の文化や習慣を受け入れて生活することで、日本では当たり前だと思っていたことが世界では当たり前ではないことを実感した。

この留学を通して、語学だけでなく、異なる文化や価値観に触れながら生活することで、多様な考え方を受け入れる大切さを学ぶことができた。また、不安や困難がある環境でも、自分自身で考え、周囲の人と協力しながら生活した経験は、留学だからこそ得られた貴重な学びであった。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400 字以上)

今回の留学を通して得た経験は、今後の大学生活や将来において大きな財産になると考えている。特に、異なる文化や価値観に触れたことで、自分の考え方や視野が広がり、物事を一つの視点だけでなく、多角的に考える姿勢が身に付いた。この姿勢は、今後の学業や社会に出てからも大切にしていきたい。また、語学力についても、留学前は自分の考えをスペイン語で伝えることに苦労していたが、日々の授業や友人との交流を重ねることで、相手の話を理解し、自分の考えを伝えられるようになった。帰国する頃にはスペイン語で考えられる場面も増えたため、この経験を一時的なものにせず、今後も継続して学習を続け、さらに実践的な語学力を身に付けたいと考えている。

さらに、留学生活では一人で生活を送り、旅行やさまざまな手続きを自分自身で行う経験を積んだ。高熱が続いた際にも、自分で状況を判断しながら対応しなければならず、不安を感じることもあったが、その経験を通して困難な状況でも冷静に行動する力や、自ら解決策を考える力が身に付いた。この経験から、自分の行動次第で困難は乗り越えられるという自信を得ることができた。

今後は、この留学で培った挑戦する姿勢と主体的に行動する力を生かし、大学での学びをさらに深めていきたい。また、異なる文化や価値観を理解し、相手の立場に立って考える姿勢を忘れず、将来は国際的な視点を持って社会に貢献できる人材を目指したい。今回の留学は単に語学力を向上させるだけでなく、自分自身を成長させる貴重な経験となったため、この経験を今後の人生のさまざまな場面で生かしていきたい。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400 字以上)

留学を考えている人に伝えたいことは、「完璧な準備ができていなくても、挑戦する気持ちを大切にしてほしい」ということである。私自身、留学前は自分のスペイン語が現地で通用するのか、一人で生活していけるのかという不安が大きかった。しかし、実際に生活を始めてみると、分からないことがあっても周囲の人に助けをもらいながら少しずつ慣れていき、自分自身も成長していくことができた。不安があるからこそ得られる経験も多く、まずは一歩踏み出すことが大切だと感じた。

また、留学前にはできるだけ基礎的な語学力を身に付けておくことを勧めたい。現地では授業だけでなく、買い物や病院、役所での手続きなど、日常生活のあらゆる場面で語学力が必要になる。もちろん留学中に語学力は伸びるが、基礎が身に付いていることで、より充実した留学生活を送ることができると思う。

さらに、積極的に現地の学生や先生と交流することも大切である。最初は緊張して話しかけることをためらうかもしれないが、自分から行動することで友人ができ、授業や生活について相談できる相手も増える。私自身も、フィールドワークや日常生活を通して友人との交流を深めたことで、より多くの学びや思い出を得ることができた。

留学中は楽しいことだけでなく、体調を崩したり、思いどおりにいかなかったりすることもある。私も高熱が続いた経験があり、一人で対応しなければならない大変さを感じた。しかし、そのような経験も含めて、自分自身を成長させる貴重な機会になる。困ったときは一人

で抱え込まず、先生や大学の担当者、友人など周囲の人に相談することが大切である。
留学は語学力を高めるだけでなく、異なる文化や価値観に触れ、自分自身を見つめ直すことができる貴重な経験である。失敗を恐れず、さまざまなことに積極的に挑戦し、一日一日を大切に過ごしてほしい。そうすることで、留学でしか得られない学びや経験が、これからの人生にとって大きな財産になると思う。